

平成31年度の市の当初予算は、市議会の『平成31年第1回定例会』で議決され、成立しました。

今号では、平成31年度の当初予算についてお知らせします。

一般会計

一般会計とは、市税や地方交付税などを財源に、福祉や教育、公共施設の整備など、市の基本的な事業を行うための会計です。

平成31年度の一般会計予算額は、児童福祉や障がい者福祉関係の給付費など（扶助費）が1億7,200万円増加したことや、公共施設などの建設や道路の整備などに使うお金（普通建設事業費）が11億5,400万円増加したことなどから、合計で221億2,000万円となりました。

特別会計

特別会計とは、用途が決まった収入（保険料や使用料など）により、特定の事業を行う会計で、国民健康保険、学校給食事業、介護保険、カルルス温泉スキー場事業、後期高齢者医療の5つの会計があります。

平成31年度の特別会計予算額は、合計で105億8,150万円となりました。

公営企業会計

公営企業会計とは、民間企業と同様に独立採算を原則として事業を行う会計で、水道事業、下水道事業、簡易水道事業の3つの会計があります。

平成31年度の公営企業会計予算額は、合計で53億3,340万円となりました。

※簡易水道事業は、平成31年度より、特別会計から公営企業会計に移行しました。

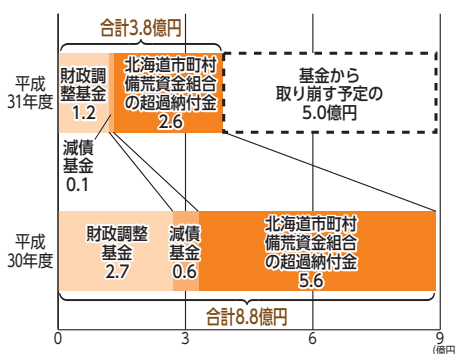
全会計 380.3億円



平成31年度の一般会計予算では、5億円の基金（貯金）を取り崩して予算を編成

221億2,000万円の支出に対して、216億2,000万円の収入見込みとなったため、財源不足分である5億円は基金を取り崩して対応し、予算を編成しました。

皆さんの家庭と同じく、市の財政も一定の蓄えが必要ですので、できるだけ基金残高を確保し、将来にわたって安定的な財政運営を図るため、引き続き、収入の増加や支出の節約に努めていきます。



※表示単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳の計は一致しません。



一般会計予算額

221億2,000万円

特別会計予算額

105億8,150万円

公営企業会計予算額

53億3,340万円

全会計

380億3,490万円